

## 県立図書館整備に係る検討等の経過について

- 平成18年 耐震診断実施 → 最低値 中央棟1階部分 Is値0.25 (耐震不足)
- 平成22年 劣化診断実施
- 平成22年11月 千葉県生涯学習審議会で「(仮称)千葉県立図書館の今後の在り方(素案)」を審議。(平成23年6月含め計2回)
- 平成23年12月 「千葉県立図書館の今後の在り方」を策定(教育委員会会議 議決)  
中央・西部・東部の連携による3館体制
- 平成23年12月 「千葉県県有施設長寿命化指針」策定
- 平成24年 3月 「公の施設の見直し方針」策定  
→中央図書館の改修後を見据えた、西部図書館、東部図書館も含めた3館体制のあり方等について、今後の図書館を取り巻く状況を踏まえ、継続して検討を行う。
- 平成25年 3月 千葉県立中央図書館改修計画事前調査結果  
→特殊工法で作られた建物のため、耐震補強の技術的な難度が極めて高い
- 平成26年12月 県立図書館施設整備方針(案)策定に係る検討会(生涯学習課・図書館)で「県立図書館の施設整備方針(案)」を取りまとめた。
- 平成28年 1月 「教育庁内 県立図書館整備方針検討プロジェクト・チーム」を設置し、県立図書館の整備の方向性の検討を開始する。
- 平成28年 2月 「千葉県公共施設等総合管理計画」策定  
→○目標使用年数 80年  
○延床面積 15%縮減
- 平成28年 7月 「公の施設の見直し方針」決定(行政改革推進本部)  
→現行の県立図書館3館体制について、その役割や今後の図書館を取り巻く状況を踏まえ、機能集約化等も含め継続して検討を行う。